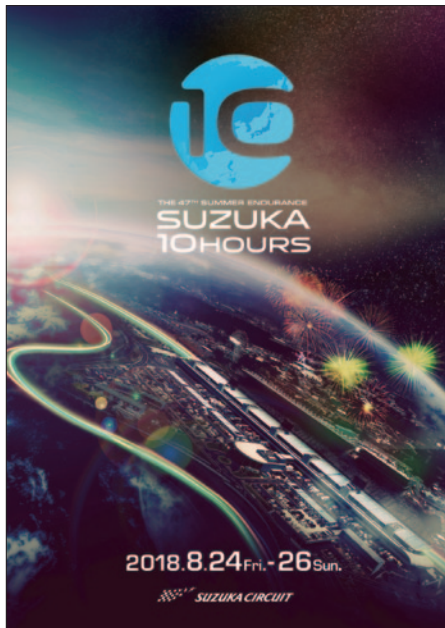




THE 47<sup>TH</sup> SUMMER ENDURANCE  
**SUZUKA  
10 HOURS**





公式B2ポスター

## 【イベント概要】

- イベント名称：第47回サマーエンデュランス 鈴鹿10時間耐久レース  
THE 47th SUMMER ENDURANCE SUZUKA 10 HOURS  
Intercontinental GT Challenge Round 3
- 併 催：Ferrari Challenge Trofeo Pirelli Asia Pacific Round 5  
Porsche GT3 Cup Challenge Japan 2018 第5戦
- 日 程：2018年8月24日(金) フリー走行/公式予選/決勝レース(フェラーリ)  
25日(土) 公式予選/決勝レース(フェラーリ、ポルシェ)  
26日(日) 決勝レース(SUZUKA 10H)
- 主 催：鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)  
株式会社モビリティランド
- コーポレーションパートナー：株式会社GTアソシエーション  
SROモータースポーツグループ
- 公 認：国際自動車連盟 (FIA)  
一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
- 後 援：三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/  
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 会 場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース(4輪用:5.807km)
- 天 候・動 員：8月24日(金) 晴れ 31.0℃ 8,000人  
25日(土) 晴れ 32.2℃ 18,000人  
26日(日) 晴れ 35.9℃ 27,000人  
※気象状況は各日とも津地方気象台15:00発表

## 【メディア概要】

- 取 材 者 数：88媒体 166名
- テレビON AIR：【B S】BSジャパン  
8月26日(日)  
9:59~11:00/19:00~20:54 決勝レース 生中継  
【地上波】テレビ大阪  
9月 9日(日)  
深夜25:57~27:00 ダイジェスト放送
- インターネット配信：GYAO! 8月26日(日)  
9:45~20:54 決勝レース生配信  
<http://gyao.yahoo.co.jp/>
- 公式ウェブサイト：鈴鹿サーキット  
<http://www.suzukacircuit.jp/>  
Intercontinental GT Challenge  
<https://www.intercontinentalgtchallenge.com/>



1966年以来46回の歴史を重ねた「鈴鹿1000km」のDNAを継承する「鈴鹿10時間耐久レース (SUZUKA 10H)」が、破格の賞金総額1億円をかけた“GT世界一決定戦”として初開催されました。

鈴鹿サーキットに集ったのは、世界のモータースポーツの大きな潮流であるFIA-GT3、そして国内屈指の人気を誇るSUPER GTのGT300マシンやスーパー耐久のST-Xマシンなど。

夏の鈴鹿サーキットを舞台に、耐久レースの新たな時代が幕を開けました。

## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F, 1-15-9 MINAMI-AOYAMA, MINATO-KU, TOKYO 107-0062, JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

レース序盤をリードしたのはポールポジションスタートのHubAuto Corsa(ニック・フォスター/デイビッド・ペレル/吉田広樹組)。しかしローリングラップへのスタートが遅れるトラブルがスタート手順違反との判断を受け、ドライブスルーペナルティを受けることに。代わってトップに立ったのはMercedes-AMG Team GruppeM Racing(トリストラン・ヴォーティエ/マロ・エンゲル/ラファエル・マルチェロ組)。その後も後続を寄せ付けず、10時間を完走。276周(約1,600km)を走り、見事SUZUKA 10Hの初代王者に輝き、優勝賞金3,000万円を獲得しました。同一周回で続いた2~4位は、10時間を走り切って約1.5秒差の大接戦で場内をわかれました。5位に入り、日本勢最上位となったMercedes-AMG Team GOOD SMILE(谷口信輝/片岡龍也/小林可夢偉組)は、特別賞「アジア賞」(ドライバー2名以上がアジア地域の国籍を有するチームの最上位)も獲得しました。

## 決勝結果

	TEAM(Nat.)	CAR	LAPS
優勝	Mercedes-AMG Team GruppeM Racing(HKG) DRIVER(Nat.) トリストラン・ヴォーティエ(FRA)/マロ・エンゲル(DEU)/ラファエル・マルチェロ(ITA)	Mercedes-AMG GT3	276
2位	Mercedes-AMG Team Strakka Racing(GBR) DRIVER(Nat.) ルイス・ウィリアムソン(GBR)/マキシミアン・ゲーツ(DEU)/アルバロ・パレンテ(PRT)	Mercedes-AMG GT3	276
3位	Audi Sport Team Absolute Racing(CHN) DRIVER(Nat.) クリストファー・ハース(DEU)/マルクス・ウィンガルホック(DEU)/ケルビン・ファン・デル・リンデ(ZAF)	Audi R8 LMS GT3	276

## 【Pro-AMクラス】

	TEAM(Nat.)	CAR	LAPS
優勝	Sun Energy 1 Racing(USA) DRIVER(Nat.) ケー・ハブル(AUS)/ミカエル・グリエ(CAN)/ルカ・シュトルツ(DEU)	Mercedes-AMG GT3	275

## 【AMクラス】

	TEAM(Nat.)	CAR	LAPS
優勝	SATO,YAMASHITA-SS/Rn-sports(JPN) DRIVER(Nat.) 佐藤 敦(JPN)/山下亮生(JPN)/久保宣夫(JPN)	Mercedes-AMG GT3	264

AUS...オーストラリア CAN...カナダ DEU...ドイツ FRA...フランス GBR...イギリス HKG...香港 ITA...イタリア JPN...日本 PRT...ポルトガル  
USA...アメリカ ZAF...南アフリカ  
※タイヤはピレリのワンメイク



総合優勝のMercedes-AMG Team GruppeM Racing



国際レーシングコースを開放して行われた表彰式



総合5位とアジア賞に輝いたMercedes-AMG Team GOOD SMILE

## 【サポートレース優勝者】



Ferrari Challenge Trofeo Pirelli  
Asia Pacific Round 5

Race 1 Go Max  
Race 2 Renaldi Hutasoit



Porsche GT3 Cup  
Challenge Japan 2018  
第5戦

仲尾恵史

※詳細なレポート・リザルトは右記をご参照ください。 [鈴鹿サーキット公式ウェブサイト](http://www.suzukacircuit.jp/) http://www.suzukacircuit.jp/

## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



## ■ 発表会・記者会見

下記4回にわたって発表会・記者会見を実施しました。

- 2017年3月 4日(土) 「モータースポーツファン感謝デー」時の鈴鹿サーキットにて、新しいレース「SUZUKA 10H」開催に関する発表会を実施
- 2017年8月25日(金) 「SUZUKA 1000km」時の鈴鹿サーキットにて、タイヤサプライヤー決定の発表会を実施
- 2018年1月13日(土) 「東京オートサロン」会場にて、TV放送についての発表を実施
- 2018年4月22日(日) 「SUZUKA 2&4」時の鈴鹿サーキットにて、鈴鹿市との共同会見を実施。  
「鈴鹿モータースポーツフェスティバル」(鈴鹿市主催)、併催イベント「泡トラ」開催を発表

## ■ プレスリリース

2017年3月4日(土)の上記発表会を皮切りに、直前までさまざまな情報・コンテンツ・ニュースを発信しました。

2017年8月…1件 2018年1月…1件 3月…2件 4月…1件 5月…1件 6月…5件 7月…3件 8月…7件

## ■ YouTuberとタイアップし、事前に鈴鹿に来場いただき、 彼等の目線でもらえたSUZUKA 10H、鈴鹿サーキットの魅力を発信しました。

タイアップYouTuber ● Kazu ● JULIDY ● こうじょうちょー ● brother4 ● つるつるTV

## ■ レース・自動車に興味薄い、近隣エリアのアクティブ層をターゲットに、交通広告、ラジオ、テレビを通じて、 併催イベント「泡トラ」を訴求し、イベントをきっかけにSUZUKA 10H、モータースポーツを知っていただく プロモーション展開を行いました。

- 近鉄名古屋駅／桑名駅／近鉄四日市駅／白子駅／津駅  
デジタルサイネージ(各駅1面) 7月30日(月)～8月26日(日)



名古屋駅



桑名駅



近鉄四日市駅



白子駅

- 近鉄名古屋駅  
アーバンビジョン(20面) 8月20日(月)～26日(日)



- レディオキューブFM三重、ZIP FM、テレビ大阪でのスポットCM(7月～)

### SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

### TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

### TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



「SUZUKA 10H」を彩るイベントとして、クラブの世界的メッカとされるイビサ島で生まれ、東京育ちの「泡パ®」と、日本独自の文化でもあるデコトラ(デコレーショントラック)が組み合わさった「サントリーオールフリー泡トラ」を開催いたしました。



GPスクエアに設置された「泡ステージ」。1分間に100Lの泡を射出する日本最大級の泡キャンポンが登場しました。



「泡ステージ」を盛り上げる実力派DJのプレイ。大量の泡とビートがコラボして、高揚した空間が生まれました。



泡とスライダーを組み合わせた「泡スライダー」。高さ6mのスライダーを滑り降りると、ゴール地点で泡まみれに!



インスタ映え確定! 写真を撮影時に泡が発射され、泡まみれになった写真が撮れるフォトスポット。



会場内には7台のデコトラが登場。その迫力と夜のライトアップでテンションもあがりました。



夜にはライトアップされて盛り上がりも最高潮に。デコトラのイルミネーションが盛り上がりにも拍車をかけました。

## PICK UP 1

25日(土)夜にはグランドスタンド前ステージ他でドライバートークショーやナイトオープンピットを開催。翌日の決勝レースに向けて期待が高まりました。



KCMG(左2人目から松田次生、アレキサンデル・インペラトーリ、千代勝正 各選手)のトークショー。



(左から)アンドレア・カルダレッリ、リチャード・ライアン各選手のトークショー。



コース上にはデコトラも登場。ナイトオープンピットを華やかに盛り上げました。

## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435





サポートレース時には予選トップ10マシンと選手をコース上のスターティンググリッドでエスコートする「グリッドキッズ」が登場しました(コチラレーシングファンクラブ限定 25日)。



決勝スタート前に、ドライバーの出身国・地域の国旗をもって花道を作り、ドライバーを迎えていただいた「ナショナルフラッグキッズ」(コチラレーシングファンクラブ限定 26日)。



決勝スタート前に、グリッド上位10チームのドライバー各2名がグラนด์スタンド前に整列、決勝レースに向けてのメッセージを語っていただきました(26日)。



決勝スタート前に、トラックヘッドがけん引する「SUZUKA 10H」のビッグフラッグを先頭に、各国のスポーツカーやクラシックカーが華やかなパレードを実施しました(26日)。



決勝スタート前に行われた、鈴鹿市出身の西田昂平氏(東京藝術大学大学院在学中)による国歌斉唱(26日)。



V1およびV2席をご利用のお客さまに無料配布されたペンライトで、チェッカーに向けてひた走るマシンたちに光のエールを送っていただきました。

## PICK UP 2

コチラレーシングファンクラブ会員の方を対象に実施された「スペシャルパドックツアー」。決勝レース中のパドックエリアやコントロールタワーなどプレミアムな体験をお楽しみいただきました。



「SUZUKA 10H」のタイヤを供給しているピレリタイヤのタイヤフィッティングエリアを訪問、興味深いお話をうかがいました。



コントロールルーム、メディアセンターに続いてポディウム(表彰台)のバックヤードでは、真新しい「SUZUKA 10H」のトロフィーをご覧いただきました。

## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

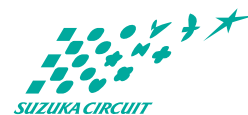
## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F, 1-15-9 MINAMI-AOYAMA, MINATO-KU, TOKYO 107-0062, JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

# イベント&プロモーションシーン3



ケン・オクヤマこと奥山清行氏がデザインした、世界で一台のスーパーカー「Kode 0」が展示されたピレリブース(GPスクエア)。



公式予選は「BBSジャパン エキサイティングアタック」として開催されました(25日)。写真は記者会見の様です。



ニューモデルの紹介などが行われたAMG車両展示ブース(GPスクエア)。



メルセデス・ベンツ「AMGラウンジ」ご利用のお客さまにお楽しみいただいた「AMGラウンジ サービスロードツアー」(26日)。



レースクイーンによるミニライブとトークショーが行われたエヴァンゲリオンレーシングNERV購買部ブース(GPスクエア)。



レースクイーンユニット「ドリフトエンジェルス」のミニライブが行われたアップガレージブース(GPスクエア)。

## PICK UP 3

23日(木)に予定されていた「SUZUKA 10H」参加マシンの公道パレード、公開車検やトークショー、地元マシン展示などの「鈴鹿モータースポーツフェスティバル」(主催:鈴鹿市)は台風20号の影響により残念ながら中止となりましたが、イベント会場のショッピングモール「イオンモール鈴鹿」ではモータースポーツにちなんだコンテンツが展開されました。



中央コートに展示されたトロロッソ・ホンダF1マシン。



駐車場で開催されたフリースタイルモトクロス demonstration(24日)。主催:イオンモール鈴鹿

## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



【PRブース等ご出展】



株式会社アップガレージ【PR】  
エヴァンゲリオンレーシング【PR・販売】  
ピレリジャパン株式会社【PR】

プリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社【PR】  
メルセデス・ベンツ日本株式会社【PR】

【サーキットビジョンご出稿】



富士スピードウェイ株式会社  
本田技研工業株式会社

【コースサイド看板ご掲出】



【ホスピタリティラウンジご利用】

アウディ ジャパン株式会社  
Ferrari Challenge  
ベントレー モーターズ ジャパン  
ポルシェ ジャパン株式会社  
Mercedes-AMG Team GOOD SMILE  
メルセデス・ベンツ日本株式会社

BBSジャパン株式会社

ピレリジャパン株式会社

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



【公式予選タイトルスポンサー】



BBSジャパン株式会社



【「泡トラ」イベントご協賛】



サントリーホールディングス株式会社

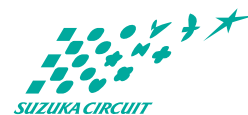
【公式プログラムご協賛】



A4 カラー 68p 17,000部発行

住友電装株式会社      BBSジャパン株式会社      本田技研工業株式会社      株式会社ホンダファイナンス

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている  
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2018年4月1日現在